

平成22年度 出版部活動報告

出版部では、「都中英研だより」を、例年通り夏と秋、2期発行し、年度末に本誌「都中英研会報」を発行した。これらの機関誌は、都中英研の活動内容を都内各中学校の英語科教員に広く知っていただくとともに、情報交換の場として、英語科教員相互の連携を深め、都の中学校英語教育の一層の充実、発展のために役立たせることを目的としている。そして、これらの機関誌を都内の全中学校及び教育諸機関等へ配布している。また、別途「都中英研ホームページ」にも連携し、都外へも広く都中英研の活動を紹介するよう努めている。

今年度は、第34回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会（関プロ）東京大会があったため、例年の活動以外に、同大会運営面で、編集部の業務を兼ねた。さらに、分科会では、第1分科会の研究発表を担当した。具体的な活動状況は以下の通りである。

「都中英研だより」第59号（7月12日発行）

都中英研会長挨拶、中英研総会報告、中英研年間事業計画、主な研究会・協議会の案内、役員紹介、コミュニケーションテスト紹介、関プロ東京大会の概要、等を掲載した。

「都中英研だより」第60号（12月10日発行）

関プロ東京大会の事後報告、各地区英語研究会の紹介（板橋区の取り組み）、今年度上半期に行った中英研関連の研修会の報告、その他のお知らせ、等を掲載した。

「都中英研会報」第69号（3月上旬発行）

都中英研の年間活動報告や英語教育活動全般のまとめとして、都中英研会長所感、文科省・都教委英語教育関係所感、英語学会報告、都研修センター報告、各地区活動状況、中英研事業報告、各部活動報告、等を掲載し発行した。

部会は年5回開いた。「都中英研だより」と「都中英研会報」の編集作業や発送作業の他に、関プロ東京大会関連の検討事項も行った。忙しい1年間であったが、部員同士の授業研究も実施して自己研鑽にも努め、有意義な部会運営ができた。

（前出版部長 池田 武男）